

国際交流クラブ1月例会
「寿司にぎり体験と新年会」報告



国際交流クラブでは、2015年1月28日(水)に1月例会として「寿司にぎり体験と新年会」と題して、出張専門・銀丁寿司の寿司職人(代表 坂井正則氏)を招いて、イカ・海老・マグロなどのネタを使って握りずし作り体験会を実施しました。参加したのは中国、台湾、韓国、インド、フィリピン、インドネシア、スリランカ、ベトナム、オーストラリア等のアジア諸国、エジプト、ケニア、ナイジェリア、ウガンダ等のアフリカ諸国の留学生・元留学生、在留外国人32名、留学生支援関係の日本人・スタッフ8名の計40名でした。



今回、銀丁寿司の寿司職人さん2名に美味しい「握りずし」の作り方を説明頂いた後、ほとんどの参加者が初めての寿司作りに挑戦しました。手にまとわりつくご飯粒に悩まされながらも各人オリジナリティを活かした寿司をお皿に盛りつけて完成!



銀丁寿司の坂井代表に評価していただき、最も美味しそうで盛り付けも立派に出来ている寿司を作った留学生3人を表彰しました。当財団にとっても初めての試みとなった「寿司にぎり体験会」。留学生たちは普段は回転寿司を食べるだけだったのに、自ら寿司を作ってみて寿司職人さんの技と日本の食文化の真髄に少しでも触れることが出来たと大満足の日となりました。



左から2番目 優勝 王品樺さん
(台湾在日福岡留学生会)
左から3番目 準優勝 Rahma Hiromi さん
(インドネシアの留学生)
左から4番目 3位 Sanny David さん
(フィリピンの留学生)

左端は、片野明子さん(当財団評議員)
右端は、坂井正則さん(銀丁寿司 代表)



左の写真は優勝した王品樺さんのお寿司の盛り付けです。